

事業所向けサービス自己評価表（児童発達支援） 結果（2020年度）

調査実施年月 2020年12月 事業所 ハッピーライフさかい

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用児童にあったスペース確保に努めています。児童の心身の状況に応じて、活動を検討しケガのリスクがないように努めます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		支援の質を確保できるよう、人員配置をしています。緊急時の場合の送迎や通院等にも対応できるよう検討しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		段差の解消など可能な範囲でバリアフリー化をしています。また、事業所内の掲示物等は季節感を感じれるものにしたり、児童の特性に応じて伝わりやすい方法で掲示しています。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		児童の心身の状況に応じて、マットやベッド等と活動を分けて行えるようにしています。骨折のリスクを避けるように努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		幅広く職員が参加し、常にミーティングを行っています。支援方法の変更などは申し送りノートを活用し、情報共有をしています。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者にアンケート票を配布し、意向等の把握を行っています。
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者向けのアンケートを基に、自己評価を行い、HPに公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていません。アンケート、自己評価を基に社内で検討を行い、業務改善につなげていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		重心連絡会などからの情報を基に研修に参加しています。外部からの連絡があれば都合がつく限り参加しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		アセスメントを行い、保護者のニーズを把握したうえで看護師、PTなどの専門職と共に支援計画を作成しています。看護師、PTなどそれぞれの立場から支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		施設の各アセスメントを使用しています。
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画前にミーティングを行って全員関わっています。支援計画には全員がかかわっているのを把握できています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別のリハや小集団での活動などを担当者で話し合っています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		曜日別にプログラムを実施したり、月ごとの行事を話し合い工夫しています
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		季節に合わせた活動を取り入れ、日々の活動にない体験ができるように設定しています
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるなど個別支援計画を作成しているか	○		看護師、PTなど専門職と検討し、遊べる姿勢などを支援計画に取り入れています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当日利用のある児童について、打ち合わせを行い、活動、リハビリ内容を確認している。また保護者からの連絡事項についても職員間で共有しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		気づいた点、改善策など話し合い次回につなげている。その日のうちに解決しています。
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は具体的に記述し、支援方法の検証・改善に活かせるようにしている。また、その都度、検討事項を話し合っています。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリング時期によらず、児童の心身の状況に合わせてその都度、支援計画の見直しについて検討しています。
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせるなど支援を行っているか	○		ガイドラインを把握し、児童の心身の状況に応じて、組み合わせています。
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管もしくは担当者が必ず参加しています。
	23 【児発】移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	担当者の訪問があった時などに利用児童の情報交換をしています。今後、緊密な関係作りに努めていきます。
	24 【児発】移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	現在、対象児がない為、実施していません。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25			
	26			
	27			
	28	○		相談支援員など基幹の人との関わりを持ち、様々な助言を受けています。
	29			
	30		○	現在は機会がなく、保護者からの要望もないため、実施していません。
	31	○		事業所連絡会に参加しています。
	32	○		送迎の際に保護者と情報共有を行い、児童の周りの情報など伺っています。
	33	○		送迎時の状況報告を通して信頼関係を築き、各専門職からの助言を伝え、保護者支援を行っています。
	保護者への説明責任等	34	○	
35		○		児童に対する気づきや小さな変化なども報告し、保護者の子育てに対する不安を軽減できるように努めています。
36			○	新型コロナウイルスの影響により、予定していた企画等は実施していません。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		連絡を受けた時には、すぐに対応を取るようにし、保護者の気持ちに寄り添った適切な対応、改善策の提示を心掛けています。
	38	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
	39	○		写真をHP等に掲示する場合は必ず保護者の了承を得てから行い、また施設内での使用についても配慮しています。
	40	○		保護者様の気持ちに寄り添うように心がけている。またそれぞれの児童に合わせた、コミュニケーション方法で意思の疎通をしています。
	41		○	利用児童が少ないため、地域住民を招待しての行事は行っていません。
非常時等の対応	42	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
	43	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	44	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
	45	○		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
	46		○	現在は対象児がない為、実施していないが、食物アレルギーについても漏れなく確認し、対応していきます。
	47	○		記入しやすい様式を検討し、たくさんのヒヤリハットに気付けるように指導、徹底している。また、事例については全体で共有できるようにしています。
	48	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか
		○		どのような事例が身体拘束に当たるのかを検討し、対象の児童に対しては、組織的に決定するように体制整備をしている。